

6月定例会のあらまし

6月定例会は、6月2日から6月27日までの26日間の会期で開催されました。

初日には、公平委員会委員の選任、人権擁護委員候補者の推薦を全会一致で同意、適任としました。また、市長より「弥富市立保育所条例の一部改正について」「令和7年度弥富市一般会計補正予算（第3号）」など6議案が提出されました。

中日には「工事請負契約の締結について」「令和7年度弥富市一般会計補正予算（第4号）」が追加提案され、これらの議案は18日の議案質疑を経て、所管の委員会に付託、審査し、全て原案どおり了承しました。

最終日には、「令和7年度弥富市一般会計補正予算（第5号）」が追加提案され、全会一致で可決しました。

なお、各常任委員会に付託された審査内容については、委員会レポートをご覧ください。

議案質疑



議案第 29 号 弥富市税条例の一部改正について

問 特定親族特別控除の対象者数は。

答 新制度の対象は約130人。

問 影響額は。

答 概算で約280万円の減収。

問 加熱式たばこに対するたばこ税の増税で、税収にどの程度影響があるのか。

答 約2,300万円の増収と試算。

議案第 30 号 弥富市立保育所条例の一部改正について

問 弥生保育所を民営化するのはなぜか。

答 多様化する教育・保育ニーズに対応するため。

問 ひので保育所の移管に対する評価・検証を行い、市の進める民営化に問題がないことを確認してから、当該条例を提出したのか。

答 所管する児童課がこども園の現場を訪問し、実際の教育や保育の状況を確認し適切に運営されているものと評価している。

問 運営法人や利用者から、懸案事項の提起はあるのか。

答 移管先法人からは、施設整備などに伴う準備期間が十分に確保できなかったことや、特別支援の保育士加配にかかる財政的援助の要望、人材確保の難しさなどを聞いている。

議案第 31 号 弥富市国民健康保険税条例の一部改正について

問 対象者数と影響額は。

答 基礎課税分は162世帯436人で、159万円の増加。後期高齢者支援金分は140世帯379人で、261万円の増加。

本会議最終日



反対 佐藤仁志、那須英二議員

可決 議案第 30 号 弥富市立保育所条例の一部改正について

賛成 横井克典議員

公立保育所の民営化は子どもの視点での専門的検証が不十分で、市の財政的な都合を最優先しており、安上がりの保育への懸念や4月に民間に移管されたこども園の運営状況への確認不足がある。慎重に検討すべき。

討論

弥生保育所の民営化により、行政の効率化が図られることで、その効果額が約4,300万円と見込まれる。利用者にとって保育の選択肢拡大や、施設整備費の市の負担軽減にもつながる。

反対 佐藤仁志、那須英二議員

可決 議案第 32 号 令和7年度弥富市一般会計補正予算（第3号）

自由通路等整備事業における国の補助金減額で市費による補填が必要となり、他事業や福祉への影響が懸念される。事業費削減や見直しが先決。

反対 横井克典、佐藤仁志議員

可決 議案第 34 号 工事請負契約の締結について

賛成 平居ゆかり、那須英二議員

まちなか交流館の改修よりも、老朽化した白鳥小学校校舎の長寿命化や学校体育館の空調整備を優先すべき。利用者の意見や参画を十分に踏まえた計画とは言えない。

討論

図書館の老朽化や子どもたちの教育的観点から重要な事業。児童館機能や公園機能は評価するが、野外スペースの熱中症対策の屋根設置を求める。

反対 横井克典、佐藤仁志、那須英二議員

可決 議案第 35 号 令和7年度弥富市一般会計補正予算（第4号）

避難所となる小学校で従来の高上げ方針が守られておらず、安全確保が不十分。工事工程や工事費の説明もなく情報不足のまま事業約21億円の判断はできない。